令和８年度市民大学講座　　講義録

２０２６年１０月６日（火曜日）　第７回講座
「見えない・見えにくい人の暮らしと工夫－サポートのヒントもお伝えします－」
講師：千葉県視聴覚障害者福祉協会理事長　今野　正隆氏
ガイドヘルパー　上野　京子氏

今野先生は、高校を卒業後、上京してビルメンテナンス会社を経営。２００９年に網膜色素変性症と診断され、翌２０１０年には急激な視力低下に見舞われ、２０１１年に完全に失明することとなりました。その後歩行訓練などのリハビリテーションを経て再起し、柏市にてボランティア団体を設立。地域の視覚障害者のためにバリアフリー映画上映会やカラオケ大会、懇親会などを主催し地域福祉の向上に尽力されてきました。２０１４年より千葉県視覚障害者福祉協会の活動に参画し、２０２３年に会長へ就任。現在は同法人の理事長として、視覚障害者の社会参加と生活の質向上のために幅広く活動されています。

講義では、「視覚障害者のガイドヘルプ」として、視覚障害とは、どの様な状態なのか概要を説明いただき、その状態によって引き起こされる困難（不自由）とその克服に向けての支援及び職業等の説明をいただきました。続いて視覚以外の感覚器による視覚障害者の日常生活と社会参加について、実体験を含め、白杖・盲導犬・視覚障害者用誘導ブロック・音響信号機等の説明をいただきました。説明に当たっては、ガイドヘルパーと一緒に実技も含め丁寧な説明で視覚障害者のサポートについて理解を深めることが出来ました。また、活発な質疑応答が行われ先生からもわかり易い解説をいただきました。





